



黒竹園(大徳寺) 撰(部分)

悲心軍の 画家たち

Ill - Starred Painters

2020 10.24 → 2021 1.11 (祝月)

[OPEN]10:00-17:00(入館は16:30まで) [CLOSE]毎週火曜日
[主催]福田美術館・嵯峨嵐山文華館・京都新聞
[後援]京都府・京都市教育委員会・京都商工会議所

福田美術館



逆境にも負けず

Fukuda Art Museum Saga Arashiyama

第1会場となる福田美術館では、^{はせがわとうはく}長谷川等伯、^{ながさわろせつ}長沢芦雪、^{わたなべかざん}渡辺華山、^{このしまおうこく}木島櫻谷や^{はやみぎよしゆう}速水御舟など、名だたる画家の作品を展示します。

彼らは家族を亡くした悲しみや、病気や怪我の苦しみなど、悲しい経験に屈することなく絵筆をとり続けました。また、家族との別れの場面を描いた「^{ぶんききかん}文姫帰漢」や、大火事から逃げ惑う人々を描いた「^{ひさまつちよう}久松町の大火図」など、悲劇的な場面を描いた作品も取り上げます。

逆境をバネにして芸術へと昇華させた画家たち。

今だからこそ、彼らの姿勢には学ぶところが多いのではないのでしょうか。



渡辺華山「千太郎の病室」(部分)

第1章 悲運の近代画家たち

市電にひかれて左足を切断した速水御舟、最愛の女性を亡くした後にも生涯制作に励んだ竹久夢二など、ここでは、明治・大正・昭和時代に活躍した画家に着目し、悲惨な経験の前後に制作された迫真の日本画をご紹介します。また、赤子を由比ヶ浜に沈められた女性「^{しずかごぜん}静御前」(上村松園筆)など、悲劇にまつわる作品も同時に取り上げます。画家によって異なる悲しみ、苦しみの表現をご覧ください。

第2章 悲運の近世画家たち

第2章では、父親とともに流罪になった深江芦舟の「草花図屏風」(重要文化財)、流罪ののち切腹した渡辺華山の「^{うこうこうもんず}于公高門図」(重要文化財)など、明治時代よりもさらに昔、江戸時代の悲運の画家作品をご紹介します。通常とは少し異なる角度から画家の人生を知ること、作品の本質を見抜く鍵となるかもしれません。

パノラマギャラリー

パノラマギャラリーでは第1章に引き続き、速水御舟、川端龍子といった近代画家による類の作品と、幼少期から飲酒におぼれたパリの有名画家ユトリロの作品も展示いたします。

※展示作品および期間は変更になる場合がございます。ご了承ください。



木島櫻谷「秋意」(部分)



速水御舟「露美」(部分)



江戸川乱歩「鳥籠」(部分)



上村松園「静御前」(部分)



小林清親「久松町の大火図」(部分)



竹久夢二「静御前」(部分)



嵯峨嵐山文華館

Saga Arashiyama Museum Of Arts And Culture

^{いとうじゃくちゆう}伊藤若冲が牽引する形で続いている日本画ブームですが、多くの才能ある画家が時の流れに埋没しているのが実情です。そこで嵯峨嵐山文華館では、かつては高く評価されたにも関わらず、現在一般的には十分に知られていないという悲運に見舞われた画家たちの、隠れた逸品をご紹介します。それぞれに魅力溢れる画家たちを、1人でも多くの方に知っていただけるきっかけとなれば幸いです。

忘却にも負けず



木村武山「天女散華」天女(部分)



山元春華「深田山出立」(部分)



山本錦海「花鳥図」(部分)



西村五雲/高原之覧(部分)



山内信一「春光」(部分)

※展示作品および期間は変更になる場合がございます。ご了承ください。

忘却にも負けず

逆境にも負けず

悲運の

画家たち



ゴッホやモディリアーニのように、
 悲運の人生を創作の糧に変え、
 素晴らしい作品を生み出した
 画家が、日本にも沢山います。
 人々から多くの注文を受ける
 人気画家が、実は病に苦しみ、
 家族を失い、歯を食いしばって
 絵筆をとり続けていた
 という例は枚挙に
 いとまがありません。
 本展覧会では、
 画家たちの身に起きた
 「悲運」に焦点を当て、
 作品に秘められた
 ドラマに迫ります。
 風光明媚な嵐山にある
 二つの美術館、
 福田美術館と
 嵯峨嵐山文華館が初めて、
 共同で開催いたします。

前期 2020 10.24(土) → 11.30(月)

後期 2021 12.2(水) → 1.11(祝)

【休館日】毎週火曜日(11/3は開館、11/4、12/29~1/1は休館)



上村松園「静御前」部分



【福田美術館】【嵯峨嵐山文華館】の二館で共同開催!

チケットはそれぞれの単館分と、二館共通券のどちらかをお選びいただけます。

【二館共通券】 一般・大学生：2,000円／高校生：1,000円／小中学生：550円／障がい者と介添人1名まで：1,000円

詳しくは福田美術館または嵯峨嵐山文華館のホームページにてご確認ください。



福田美術館
FUKUDA ART MUSEUM
SAGA ARASHIYAMA

入館料

一般・大学生：1,300(1,200)円／高校生：700(600)円／
小中学生：400(300)円／障がい者と介添人1名まで：700(600)円
*()内は20名以上の団体料金 *幼児無料 *お得なオンラインチケット(日時指定)も販売

アクセス

JR山陰本線(嵯峨野線)「嵯峨嵐山駅」下車、徒歩12分/
阪急嵐山線「嵐山駅」下車、徒歩11分／嵐電(京福電鉄)「嵐山駅」下車、徒歩4分
*障がい者や車椅子の方で駐車場をご利用の場合は、事前にご連絡願います。

〒616-8385 京都府京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町3-16

TEL:075-863-0606 FAX:075-863-0607 <https://fukuda-art-museum.jp>



嵯峨嵐山文華館
Saga Arashiyama Museum of Arts and Culture

入館料

一般・大学生：900(800)円／高校生：500(400)円／
小中学生：300(250)円／障がい者と介添人1名まで：500(400)円
*()内は20名以上の団体料金 *幼児無料 *常設展もご覧頂けます

アクセス

JR山陰本線(嵯峨野線)「嵯峨嵐山駅」下車、徒歩14分/
阪急嵐山線「嵐山駅」下車、徒歩13分／嵐電(京福電鉄)「嵐山駅」下車、徒歩5分
*障がい者や車椅子の方で駐車場をご利用の場合は、事前にご連絡願います。

〒616-8385 京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町11

TEL:075-882-1111 FAX:075-882-1103 <http://www.samac.jp>

